

# 単元名 「バレーボール」 (第3学年 E 球技 ネット型)

## ■本事例のポイント

課題解決に向けてICTを活用し、生徒の学習状況を把握とともに、他者の考えを共有できる環境を整えた。これにより、生徒が主体的に学習に取り組み、個別最適な学びを実現することを目指した。

## ■単元の目標

体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けることができるようとする。

## ■単元の指導計画 (11時間)

### 第1～3時間目

#### 「オリエンテーション・基礎技能の復習」

- ・学習の見通しをもち、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。

### 第4～6時間目

#### 「課題発見・楽しさの視点について考える」

- ・攻防における自己やチームの課題を見付け、運動の楽しさを理解する。
- ・一人ひとりの違いに応じたプレイなどを大切にし、みんなが楽しめる視点を理解する。

### 第7時間目

#### 「仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付ける」

- ・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けることができるようとする。

### 第8～11時間目

#### 「ルールを工夫したリーグ戦」

## ■本時の概要



「みんなが楽しめる視点」を大切にし、他者との意見交換を図りながら、ルールの工夫について考える。

**【学習課題】** みんながバレーボールを楽しめるように、仲間とゲームの行い方を考え、ルールを工夫しよう。

個別アンケートで自分の考えをまとめる。



意見共有ソフトを活用し、グループで意見を共有し、整理する。



二つのグループで互いの意見を基に、内容のブラッシュアップを図る。



全体で共有し、振り返りを通して合意形成を図る。

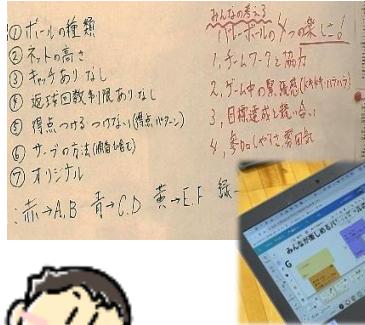


## ■学習調整をしている子供の姿

### 子供が学習課題を選択・決定する場面



### 子供が学び方を選択・決定する場面の設定



事前アンケートを集約した「みんなのバレーボールの楽しさ」から考えよう！

### 子供が自らの学習を振り返る場面の設定



## ■指導と評価の工夫

### ①動画撮影と分析を同時にを行い、評価に活用する

- \* アナリスト（アドバイス役）として仲間の課題を探り、改善点を考えることで、自身の課題（つまずき）にも気付けるよう促す。
- \* コメント（アドバイス）を参考に動画を振り返り、課題をより明確に「自分事」として捉えることができるよう支援をする。
- \* 分析結果の記録を、自己評価に結び付けられるよう促す。

### ②ICTを使いながら意見を共有し、ブラッシュアップする

- \* 課題解決に向けてICTを活用し、生徒の学習状況を把握とともに、生徒自身が工夫したルールの必要性等を考え、他者の意見（考え）を参考にしながら主体的に取り組めるよう、学習の見通しをもたせる支援を行う。
- \* 共有ファイルを使用し、短時間で効率的な話し合いを実現する。
- \* 他グループの意見を参考にしながら、自分たちの意見をブラッシュアップできるように支援をする。

### ③本時の学習を振り返り、学習課題との関連を確認する

- \* 自身の活動とともに、本時の学習課題に対する自分の取組について振り返ることを促す。
- \* 次時への不安やつまずきも入力することを促し、教師による支援につなげる。

## ■成果（○）と課題（▲）

- ICTを活用し、学習の見通しをもたせるとともに、生徒の学習状況を把握し、個別最適な学びにつなげることができた。
- 生徒同士の関わりを通じて、主体的に対話的な授業を構築することができた。
- ▲運動量を確保しながら、効率的に話し合いを進めるための仕組みを整える必要がある。